

## 麻生区区民会議 第5回環境部会

(議事要旨)

1. 日 時 平成21年4月15日(水)午前10時から午後0時まで
2. 場 所 麻生区役所第5会議室
3. 出席者 天野委員、市川委員、伊藤委員、碓井委員、神本委員、山崎委員、渡邊委員  
(関係者)環境局廃棄物政策担当 小宮主査  
堤根処理センター 岡本主幹(前担当)  
(事務局)荻原企画課長、重森主査、阿部主査、稲葉
4. 傍聴者 2人

まず、伊藤部会長から自身が作成した資料(これまでの検討内容と今後の展開をまとめたもの)の説明があった。その後、環境局から生ゴミリサイクルと地産地消の取り組みについて、説明が行われた。その後、議事について、審議を行った。

環境局から説明されたポイントは、以下のとおり。

川崎市では、ゴミの収集運搬に関しては、市、委託業者、許可事業者(財産など一定要件有)しか実施を認めておらず、しかもこれらも事業系ゴミに限っている。家庭ゴミは市の収集で充分という認識である。

区民会議としてモデル実施するのは、廃棄物処理法、肥料取締法の面から困難。「実験」ということで委託業者になってもらいモデル実施するくらいしか現実的にはない。

各プロジェクトについての主な意見や内容は、次のとおり。

### 1 議事

#### 【前回の部会で提案のあった件について 生ゴミの堆肥化などの推進】

伊藤部会長の資料及び環境局からの説明を受け、検討を行った。

- ・ 環境局の話から、区民会議として事業化するのは断念するしかない。
- ・ 事業化は無理でもしょうがないが、生ゴミ隊やダンボールコンポスト、各家庭や地域で地道にやっていくことは勧めていきたい。
- ・ リサイクルを推進する前に、ゴミそのものを減量することが大切。
- ・ 廃棄物原料指導員に協力してもらうのは、町会との関係もあり難しいと思う。
- ・ 生ゴミリサイクルと地産地消をテーマにフォーラムを開催してはどうか。

伊藤部会長が作成した「フォーラム開催案」に基づき、11～12月に実施する方向で検討することとなった。

#### 【前回の部会で提案のあった件について 環境DVD】

神本委員から、環境映画(DVD)の作成について提案があった。

- ・ 日本映画学校の寺川さんも協力してくれそうなので、実行したい。
- ・ このDVDでどんなメッセージを伝えるのか。先に中身を決めた方がいいのではないか。日本映画学校の人が協力してくれたとしても、内容を理解してもらわなければ制作は難しい。
- ・ 太田前区長も「内容次第」と言っていた。
- ・ こういった映像を作るのは、言葉では簡単に言えるが実際にやるのは非常に大変。お金もかかる。
- ・ 「温暖化と私たちの暮らし」などのテーマで、PTAや学校での総合学習の教材に使ってもらえるものを作ってはどうか。
- ・ 川中島小学校の映像は小学校低学年向けのものであったので、今回のものは小学校高学年向けで大人も学習できる内容にすべきではないか。

意見をもとに神本委員が案を練り、5月15日の企画部会で提案することとなった。

#### 【地産地消の推進】

レストランあさおによる地産地消メニューの提供について、事務局から6月19日（食育の日）にスタートさせることを提案した。また、保健福祉センターが事務局となり実施している「健康づくり推進会議食育推進分科会」の動向について説明を行った。

- ・ 食材を提供してくれる予定の農家の井上さんは、キュウリ、ナス、トマトなどの夏野菜が提供しやすいと言っていた。

今後、レストランあさおと井上さん、区民会議委員と事務局で、今後の展開について打合せを行うこととした。（日程は後日調整）

#### 【環境家計簿】

事務局から、まちづくり市民の会で検討している環境家計簿の実施について情報提供を行った。

- ・ まちづくり市民の会のエコプロジェクトの代表者からは、この環境家計簿の実施が相当具体的になっていると聞いている。
- ・ 同じ内容を別々の組織からやっても意味がない。やるのであれば協働実施などが望ましい。
- ・ まちづくり市民の会が実施するものは、大人向けを想定しているようだが、子供向けのものもできないか。
- ・ 小学校に協力を依頼するのは大変。誰が回収するのか。小学校側が協力してくれるか。協力してくれる学校とそうでない学校が出てくると後で問題になる。実施には相当な覚悟が必要。
- ・ 区民まつりなどに合わせて環境家計簿のコンテストができないか。

まちづくり市民の会の動向も注視しながら、継続検討することとなった。

## 2 その他

今回は、6月11日(木)午前10時から行うこととなった。